

令和6年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

公益財団法人 日本住宅・木材技術センター

(1)資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載する。

借入れの予定	なし		
事業番号	借入先	金額	用途
		千円	

(注)借入金限度額は50,000千円とする。

(2)設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容を記載する。

設備投資の予定	あり		
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の用途
公1	1. 構造試験室・耐力壁試験用アクチュエータ オーバーホール (機械装置) 試験用装置の改修を行い効率化に資する。	4,000千円	自己資金(減価償却引当資産)
	2. 防耐火試験室・排煙処理装置ダクト改良 工事 (機械装置) 試験用装置の改修を行い効率化に資する。	2,000千円	自己資金(減価償却引当資産)
	3. 材料性能試験室・分析機器制御PC設置 (什器備品) 試験用装置の導入を行い効率化に資する。	1,600千円	自己資金(減価償却引当資産)
	計	7,600千円	